

静岡市自主運行バス「両河内線穴原系統」の運賃改定について

1 路線の概要

両河内線穴原系統は、平成 11 年に静岡鉄道(株)が路線退出し、以降は静岡市自主運行バスとして運行している。

ルート	但沼車庫～小河内～穴原車庫前 ※但沼車庫でしずてつジャストライン(株)の三保山の手線と接続
便数	平日 定時定路線 16 便 土日祝 定時定路線 6 便
車両	大型バス
事業の種別 運行態様	道路運送法第3条1(イ)に掲げる一般乗合 旅客自動車運送事業(路線定期運行)
運賃の種別	道路運送法第9条第4項に基づく協議運賃
運送事業者	しずてつジャストライン(株) ※静岡市からの運行委託による
利用者数	9,352 人／年(R5 年度実績)
年間収支	運行経費: 27,764 千円 運行収入: 2,173 千円 年間収支: △25,591 千円 (R5 年度実績)欠損額は年々増加傾向



2 運賃改定に係る協議内容

静岡市自主運行バス「両河内線穴原系統」の運賃を次のとおり改定してよいか、本会に諮る。

										穴原車庫前
										穴原
										170 200
										170 200
										170 200
										170 200
										180 200
										200 260
										230 260
										250 320
										270 310
										270 310
										300 370
										330 410
										330 410
										360 420
										370 480
										390 480
										420 550

改定理由	しずてつジャストライン(株)は、近年の輸送原価高騰を受け、一般路線バス全線における運賃の値上げを、令和6年10月1日に予定しており、国土交通省へ運賃改定の認可を申請している。 静岡市がしずてつジャストライン(株)へ運行委託している「両河内線穴原系統」についても、同社の値上げ運賃と均衡を保つため、運賃改定を実施する。
改定実施日	令和6年10月1日
備考	・改定額は、しずてつジャストライン(株)の改定率に準じる。 ・小学生以下、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳所持者、手帳所持者を介助する者の運賃を2分の1とする取扱いに変更はない。 ・定期旅客運賃については改定後の普通旅客運賃により計算する。

【参考】事前の意見聴取結果

本会に先立ち、静岡市ホームページ等で市民、利用者、利害関係者等に「両河内線穴原系統」の運賃改定について意見を募集した結果、5件の意見が寄せられた。
(意見募集期間:R6.7.8～R6.7.25)

No	寄せられた意見	意見に対する運行者(市)の考え
1	中山間地でも路線バスが運行されていることに驚いた。運賃値上げは賛成。タクシー利用した場合の料金と比較提示したら、良心的な運賃だと分かると思う。バスで行ける温泉やキャンプ場など、秘境感を県外の方に YouTube 等で配信してバス利用を促進すると良いかと思う。とても良い環境だが、人に知られず埋もれているのが勿体無い。	ご賛同いただきありがとうございます。ご意見は今後の参考とします。
2	運賃値上げはやむを得ないと思うが、利便性を向上するように工夫してほしい。	
3	運賃値上げは、燃料費や人件費の問題から必要だと思う。 運賃値上げを回避するよりも、不採算の負担が大きくなり、廃線になることを回避すべきだと思う。本路線利用者にも負担を共有してもらう事は、理解を得られると思う。 利用者が少なくてもバスを運行している事で、高齢者が免許の返納を躊躇したり、高額タクシー代を負担したり、移動を諦め孤立したりする事なく過ごせていると思う。 公助福祉の面からも必要な路線である事と、採算性の面から減便や廃線の可能性を併せて、値上げの必要性について利用者の理解を求める説明を添えて欲しい。単純に値上げする旨のみの周知ではなく、存続のための努力であることを、しっかりと伝えて欲しい。	
4	燃料費や人件費の高騰で運賃値上げは、やむを得ないと思う。ただし、高齢者や低所得者への配慮が必要。	
5	運賃改定は賛成。昨今の社会情勢を鑑みれば必要なこと。燃料高騰などによって、経費が増加しているのは全ての業種において起こっている。運転士不足の解消のため、労働環境の改善は急務。燃料費や人件費など増加する経費を運賃値上げによって対応することは当然のこと。一方で、経費の部分で改善できることは取り組んでいくべき。	

※運賃改定に関連しない意見についても記載している。